

調査対象物質	分析法フローチャート	備 考
<p>[7] S-エチル=2-(4-クロロ-2-メチルフェノキシ)チオアセタート (別名: フェノチオール又はMCPAチオエチル)</p> <p>[13] 4-オキシラニル-1,2-エポキシシクロヘキサン</p> <p>[35] チオリン酸 O,O-ジエチル-O-2-キノキサリニル (別名: キナルホス)</p> <p>[37] 2,3,5,6-テトラフルオロ-4-メチルベンジル=(Z)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名: テフルトリン)</p>	<p>【大気】</p> <p>大気 → 捕集 (Sep-Pak PS-AIR, 0.5L/分×24時間) → 溶出 (メタノール 10mL) → 濃縮 (窒素バース, 0.1又は1mLまで) → GC/MS-SIM-EI</p> <p>シリコンオイル添加 フェナントレン-d₉ 50又は100ng</p> <p>「平成17年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理: GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値: 【大気】 (ng/m³) [7] 9 [13] 16 [35] 3 [37] 0.5</p> <p>分析条件: 機器 GC: Agilent 6890 MS: JMS-K9 又は GCMS-QP2010</p> <p>カラム HP-5MS 30m×0.25mm、0.25μm 又は DB-5MS 30m×0.25mm、0.25μm</p>